

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	警防救急担当課長	中嶋 健史
消防－05 警防活動事業		☒ 自治事務	主管課	警防救急課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	消防職員の技術の向上を図り、各種災害に即時対応できるよう機材の維持管理をするため。
効果	組織全体のレベルアップ・事故の絶無を目指し、市民を災害から守る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

警防活動に必要な備品の整備、機器の保守点検等を行うとともに、消防学校に職員を出向させ、技術の向上を図る。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人 口	177,243人	人 口	177,464人	
運営資源状況	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		
	当初予算(千円)	23,329	決算値(千円)	21,319	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	500	その他		
事業経費運営	一般財源	22,829	一般財源	21,319	
	人員配置数	1.5	人員配置数	1.0	
	人件費(千円)	11,696	人件費(千円)	7,668	
	総事業費(千円)	35,025	総事業費(千円)	28,987	
	市民1人当りの経費(円)	198	市民1人当りの経費(円)	163	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	消防活動上の資機材等の維持管理及び各種研修への職員派遣に努める。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	限られた人員の中で、効率的に職員を派遣。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題 新たな課題	新人職員に対しての各種研修を実施し消防・救助技術の向上を図る。	

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない

事業内容の方向性	☐ a:事業内容を見直す ☒ b:事業内容は現状通りとする ☐ c:事業を休止又は廃止する ☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
	⇒				
予算規模の方向性	☐ A:予算規模を拡大する ☒ B:予算規模は現状維持とする ☐ C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	各種救助等の資機材整備、維持管理及び消防学校における各種専科教育等に職員を派遣し有事に備える。		
総評	今後も継続して災害の被害軽減に努めるとともに、消防の責任を果たし、市民の安全を確保するために各種研修等効率的な職員派遣を行う。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		職員研修による知識等の向上				単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
専門的な知識を取得させ、市民サービスに反映させるため。		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		実績値	100.0							
		達成率	100.0%							
指標の内容		消防資機材等の維持管理における達成率				単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
警防活動に係る、資機材等の維持管理を行い、有事の際、円滑な活動を実施する。		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		実績値	90.0							
		達成率	90.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値								
		達成率								
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方		複雑多様化する災害に対し、各種研修等を今後も積極的に参加させ職員の知識向上に努めるとともに、資機材等の維持管理の徹底を図る。								

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---